

若者のミカタ
× 国際教養大学

高校生長期留学事業



3人決定 来年夏、欧州へ



留学が決まった(手前左から)齋藤さん、佐藤さん、平野さん

国際教養大学の学生として、
くる異国留学推進委員会
(佐田大樹代表)が美穂する
長期留学支援事業を利用し、
海外留学する高校生3人が決
まった。行先はそれぞれ希
望したドイツ、フランス、ベ
ルギー。学費や渡航費につ
いては全て企業や個人から
の寄付金で賄う。今後さまざ
まな国へ進出する留学生の
増加が期待される。

留学事業は、公益社団法人
日本国際生活体験協会(東京)
と推進委が連携して実施。夏



環境先進国ドイツの取り組
みなどについて、平野さん
は「一期生という先輩さん
に感謝している。次の代
につなげていこうという経
験はたくさん発信していきたい」と張り切った。少子化対策
の方を大入れるフランスで家族
の在り方や考え方を肌で感じ
たいという齋藤さんは、将来
は秋田の少子高齢化問題を解
決に導く会社を立ち上げたい。
ためてホストファミリーに見
せたり、良さを伝えたりもし
たい」と話す。

建築科で学ぶ佐藤さんはヨ
ーロッパの建物を詳しく知り
たいと応募。工業高校では
留学の機会を得にくいと思っ
ていた中で、チャンスと見え
られてうれい。ヨーロッパ
の中心にあるベルギーでさま
ざまな建築文化に触れてき
たい」と語る。

ワークショップを経て出発



留学が決まった高校生と推進委メンバーらが交流した
キックオフミーティング=10日、秋田市文化創造館

から約10日間、一般家庭に
ホームステイしながら高校へ
通う。定期的に現地からリポ
ートを提出したり、帰国後に
報告会を開いたりする。
自分たちが暮らす秋田の現
状をしっかり認識してから海

外に出ることで、秋田への理
解もより深まるとの考えか
ら3人は、今年11月自
己の関心や秋田の課題など
を見詰めた推進委主催のワー
クショップも受講してもらっ
た。10日は、秋田文化創造
館でワークショップミーティ
ングを開催。高校生と推進委
メンバーが、推進委メン
バーと共に留学先の言語や
文化について理解を深めた。
ミーティングに参加した出

留学が決まった高校生と推進委メンバーらが交流した
キックオフミーティング=10日、秋田市文化創造館

推薦委は、秋田の高校生が
費用負担なく長期留学できる
事業の実現を目指し、昨年8
月に発起。教養生やOJの
約30人が組織する。海外に出
て秋田の魅力や奮闘見ても
らい、「将来戻ってきたら」
「離れていても秋田のために
何かしたい」と行動する意
を人々も増えているとい
う狙いだ。

留学費用は、現在約60の個人
寄付を募り、現在の約40万円が
寄せられている。今後留学等
定の会社も複数あり、寄付額
は600万円に届く見通し。
委員の一人、教養大1年の
小野澤さん(19)は「神奈川出
身は、やはりと留学の対策
が決まるまで、きつかった。高
校生にとって大変した留学経
験と多岐よう、出発までの間、
なさんの学びや発見を伝え
られるワークショップを準備
していきたい」と意気込み。
(川村) 二